

事業 その5

「ようこそなかのしま!」イメージアッププロジェクト事業



'04(ラブフォー)中之島記念公園の魅力アップ事業

7.13水害の記憶を後世に伝えるための施設として誕生した'04(ラブフォー)中之島記念公園。公園の管理を行う中之島ラブフォー隊や地域の皆さんが、さらなる魅力アップに向け、春秋の植栽会、公園内の樹木のイルミネーション装飾などに取り組みました。



◀5月12日(土)春の植栽会
40基の木製プランターにヒマワリの種をまき、メッセージプレートを取り付けました。また、公園法面と花壇の草取りを行い、ペゴニア(赤・白)の花苗を植えました。



◀7.13水害防災メモリアルイベントの頃には、満開のヒマワリが咲きました。

9月8日(土)秋の植栽会▶
40基の木製プランターにナノハナの種をまき、花壇の草取りを行いました。春には黄色のナノハナが咲き、公園を訪れる人を楽しませてくれるでしょう。



事業 その6

なかのしま「出会い♥ふれあい」交流事業



地域内で新たな出会いやふれあいを生むきっかけをつくり、楽しく交流してもらうことで、地域活性化につなげることを目的とした事業です。中之島コミュニティ推進会議町づくり部会が、婚活イベント第4弾として「X'masで出逢いTukurimasu in なかのしま」を開催しました。



12月2日(日)、中之島コミュニティセンターを会場に、地域内外の男性13名、女性10名の方から参加いただき開催しました。

最初に自己紹介をした後、一緒に「なかのんパンケーキ」作りを体験しながら交流を深めました。その後のフリータイムのパーティーでは、気になった異性との会話を楽しんだり、皆でゲームをして盛り上がりしました。

クリスマス仕様に飾られた会場ではケーキやお茶を楽しみながら思いおもいに交流を深める姿が見受けられました。今回のイベントにおいて2組のカップルが成立!皆さんからの幸せな報告をお待ちしています(^^)



長岡市中之島地域ふるさと創生基金事業

ふるさとづくり
なかのしま

第13号
2019.3.22

事業 その1

なかのしま若者会議

「なかのしま若者会議」とは、中之島地域委員会第2分科会の主催で“若者定住”というテーマで話し合いを重ね「中之島地域に住んでいる若い人(20~40代)たちが集まっての仲間づくりと語り合う機会」をつくらうということで、“なかのしまYoru・Café”(Yoruは「夜」と「寄る」という2つの単語の掛け合わせ)を初めて4回シリーズで開催しました。
参加者は毎回20名を募集しました。以下、各回の状況をご紹介します。

【第1回目】
7月27日(金曜) 20名参加

会場は、「道の駅パティオにいがた」の屋外ウッドデッキ。
ゲストは、中之島地域出身の料理家で薬膳アドバイザーの遠藤ミホさん。遠藤さんが中之島産農畜産物を使ったオリジナル料理をふるまいながら、自身の活動について紹介しました。
食事後は、1グループ4名で5グループに分かれて「東京にいる友達に食べさせてあげたいと思う料理」というテーマでワークショップ。「お米」や「レンコン」など中之島の特産物を使った料理を食べさせたい、食材の良さを伝えたいとの意見が多数でした。



▲H30.7.27 第1回よるカフェ

【第2回目】
8月31日(金曜) 12名参加

会場は、大竹邸記念館。
ゲストは、与板地域在住でUターンして家業のお茶屋さんを継いだ有限会社田中清助商店専務取締役の田中洋介さん。
日本茶インストラクターの田中さんが淹れた日本茶などを飲

●長岡市ふるさと創生基金事業とは…
市町村合併の際に合併特例債等を財源に積み立てた「長岡市ふるさと創生基金」の運用益を活用し、地域振興や市の一体感醸成に資する取り組みを、地域住民自らが考えて実践するものです。

●平成30年度は次の6事業を実施しました。

事業 その1
なかのしま若者会議 ……表紙~2P

事業 その2
20歳の若者地域貢献事業 ……2~3P

事業 その3
大口れんこん収穫体験ツアー ……3~4P

事業 その4
なかのんPR事業 ……4~5P

事業 その5
「ようこそなかのしま!」
イメージアッププロジェクト事業 ……4~5P

事業 その6
なかのしま
「出会い♥ふれあい」交流事業 ……4~5P

み比べながら、自身のここまでに至る経歴や他地域での活動を紹介。その後、参加者は1グループ6名の2グループに分かれ、「想いをカタチに~私が思うなかのしま」というテーマで、中之島の「好きなところ」と「嫌いなところ」、「中之島を楽しむ!こんなことしたい」についてワークショップをしました。ワークショップで参加者から「交通の便が良いところが好き」とか「若い人が祭りや行事に出てこないところが嫌い」とか「なかのんファンクラブをつくりたい」など



▲H30.8.31 第2回よるカフェ

の意見が出ました。

ワークショップ終了後、参加者にアンケートを実施。参加者からは「中之島について考えることが今までなかったが、今回考えることができた」という感想がありました。会が終わってからも参加者同士で話が盛り上がりしていました。

【第3回目】 10月19日(金曜) 14名参加

会場は、刈谷田荘。

ゲストは、長岡家守同人理事で長岡駅周辺の空き家をリノベーション(古い建物を大規模改装して新たな用途で活用すること)に取り組んでいる株式会社池田組専務取締役の池田雄一郎さん。

池田さんは、長岡駅周辺の事例や自身の活動について紹介。その後、参加者は4~5名の3グループに分かれ、「想いをカタチに~刈谷田荘のリノベーションを考えよう」というテーマでワークショップをしました。ワークショップでは、刈谷田荘の活用案として「シェアハウス」、「子どもの学習場所」、「ゲストハウス」、「美術関係のアトリエ」という意見がある一方、「カフェ」、「居酒屋」といった飲食店という意見も多く出されました。

ワークショップ終了後の参加者アンケートでは、「時間が足りなかった。アイデアが出た後のもう一歩がほしかった」とか「さまざまな発想が出ておもしろかった」といった感想がありました。



▲H30.10.19 第3回よるカフェ

【第4回目】 11月16日(金曜) 11名参加

会場は、中野東の鈴木健司さん所有の古民家。

ゲストは、Iターンで妻のおばさんが住んでいる村上市に移住し、山菜の加工販売業をしている地域商社いろむ

すび代表取締役の古林拓也さん。

冒頭、参加者は、鈴木健司さんから古民家の由来や中之島に対する自身の思いのお話を聞きながら、鈴木さんが収穫した有機栽培で昔ながらの天日干し“はざかけ米”を試食。その後、古林さんから、Iターンを決意するまでの経緯や自身が経営している地域商社のことについてお話がありました。その後、参加者は男女のグループに分かれ、「中之島の良いところあんなところ!」や「なかのしまの『いいところ』を活かして、何をやってみたいですか?」をテーマでワークショップをしました。ワークショップでは、中之島の良いところとしては、「農業や自然景観」、「交通アクセス」などの意見がありました。中之島でやってみたいこととしては、「農業で田舎と都市部の住民が交流するイベント」や「自然景観を生かしたイベント」を企画してみたいといった意見が出されました。

ワークショップ終了後の参加者アンケートでは、「自分の町の良い所を考えるきっかけをもらった」といった感想がありました。

最終会ということで、参加者持ち寄りで、ささやかな懇親会を開催し、大いに盛り上がりました。



▲H30.11.19 第4回よるカフェ

【まとめ(成果と課題)】

成果としては、4回の“なかのしまYoru・Café”という語り合う機会を通じて、第1段階「若い人が集まる」と第2段階「共感・仲間づくり」は、達成できたと思います。また、参加者は、ゲストの話を通じて中之島地域の現状を再認識したと思われます。

今後の課題としては、事業の周知の方法が従来のチラシのみであったことから今後はSNSを活用して周知方法を工夫したいと思います。

新成人が中之島に在住していて、将来も中之島に住み続けたいのは2割でした。また、約3割の新成人は地域のために何らかの貢献をしたいという結果でした。



事業 その2
20歳の若者地域貢献事業

昨年8月15日に開催した中之島地域成人式において、出席した新成人(89名)に「ふるさと中之島に対する想い」や「将来どこに住みたいか」などアンケート形式で実施(回答者数78名・回答率88%)。現在5割の

事業 その3

大口れんこん収穫体験ツアー



▲収穫体験

県内外に多くのファンをもつ中之島地域の特産品「大口れんこん」の収穫作業や蓮の実アート、象鼻杯を体験できる「大口れんこん収穫体験ツアー」を9月29日(土)に開催しました。

平成18年度から13年連続で開催している人気のツアー今年度は38名の参加となりました。

参加者が楽しみにしているれんこん収穫体験は「泥の田んぼに入って感触がおもしろかった。子供たちも大喜び。」「丁寧に教えてもらい大きなれんこんを掘ることができ楽しかったです。」の声が聞かれました。昼食はれんこんを使った料理を、大口れんこん生産組合のみなさんといただきました。

今回はれんこんの他にも地元野菜の小松菜やきくらげ、しいたけの料理も楽しめ「普段つくらない料理を教えていただけ良かった。」「料理の数の多さにびっくりしました。」と、中之島のおいしいものをたくさん堪能しました。



▲収穫体験



▲レンコンと地元野菜を使った料理の昼食



▲象鼻杯体験

事業 その4

なかのんPR事業

地域の皆様に愛され、育まれている「なかのん」。おかげさまで、元気に成長を続けています!

「なかのん」は、平成25年度に誕生して以来、中之島地域を県内外にPRするために一生懸命活動しています。今年度も中之島観光協会が、多くの人に中之島を知ってもらおうと、「なかのん」と一緒にPR事業に取り組みましたので、「なかのん」の活躍をいくつかご紹介します。



▲11月24日(土)~25日(日)に埼玉県羽生水郷公園で開催された「世界キャラクターさみっとin羽生」に参加しました。「なかのん」が登場すると、たくさんの来場者から記念写真のリクエスト。「あっ!なかのんだ!」と駆け寄ってきてくれる方もいました。そして全国から集まったたくさんのキャラクターたちとお友達になりました。

他にも恒例になった「なかのんカレンダー」を中之島地域の各ご家庭に配布させていただいたり、クリア



▲12月1日(土)~2日(日)に東京都の上野恩賜公園で開催された「えちご長岡・佐渡広域観光フェア」に参加しました。長岡市の仲間たちと一緒に、ふるさとの魅力をたくさんPRしました。

ファイルのリニューアル版等のグッズを製作し、各種イベントの景品として活用する等いろいろな場面で「なかのん」はPR活動に励みました。

また、今年も県内外からたくさんの年賀状が「なかのん」に届きました。『いつもたくさんのお手紙本当にありがとうのん♪お友達がたくさん増えてうれしいのん♪◎ω◎』と「なかのん」は言っていました。また、『これからも応援してくれるみんなに感謝し、中之島のPRにがんばるのん♪◎ω◎』と意気込んでいました。



▲交通安全指導